コードで工夫したところ

1. 車両をプルダウンで選択したとき、関数showVehicleInfoFromSelection()を呼び出し。 選択時にvalueの情報を渡す。Valueの値は、配列vehiclesのインデックス情報になるように設定。

```
let vehicle1 = {
    name: "ハイエースワゴン",
    emptyWeight: "2040",
    GVM: "2590",
    centerOfGravityHeight: "800",//仮値
    wheelBase: "2570",
    vehicleWidth: "1880",
    frontAxleWeight: "1590",
    rearAxleWeight: "1000",
    tireDynamicLoadRadius: "340"//仮値
};
```

let vehicle6 = {
 name: "アルファード",
 emptyWeight: "2230",
 GVM: "2615",
 centerOfGravityHeight: "750",//仮値
 wheelBase: "3000",
 vehicleWidth: "1850",
 frontAxleWeight: "1615",
 rearAxleWeight: "1000",
 tireDynamicLoadRadius: "370"//仮値
};

// 車両の配列を定義

const vehicles = [vehicle1, vehicle2, vehicle3, vehicle4, vehicle5, vehicle6];

2. valueの値を読みとり、vehicles[valueの値]とすることで、プルダウンメニューと車両情報を紐づけ

```
//車両をプルダウンで選択

function_showVehicleInfoFromSelection() {

let vehicleIndex = document.getElementById("vehicleSelect").value; //選択した車両の設定したvalueを返す。ここではvehiclesのインデックス番号を返す
let vehicle = vehicles[vehicleIndex]; //選択した車両の情報をvehicleに代入

let into = document.getElementById("vehicleInto"); //id:vehicleIntoに情報表示させるためintoに代入
```

3. .innerHTMLを使って、選択した車両情報が表示されるようにした。

車両選択: ハイエースワゴン 🗸

車両名	空車重量[kg]	GVM[kg]	Fr軸重[kg]	Rr軸重[kg]	重心高[mm]	ホイールベース[mm]	タイヤ動荷重半径[mm]
ハイエースワゴン	2040	2590	1590	1000	800	2570	340

If文でvehicle1が選択されたとき、

- ・・・vehicle2が選択されたとき、
- ・・など繰り返しをせずに
- コードを短縮化できた

○他にやりたかったこと

・実際に選択した車両がブレーキを踏んだとき理想制動力、実制動力を使うとどういう挙動になるか? 何秒でとまるか?など車のアニメーションで描画。

○プレゼンテーションを作ってみて

自分の頭でやりたかったことが、実際にできるようになったことを実感できた。 上記のようにまだうまく作れないものもあるので、

今後もっと勉強して、業務に役立つツールの開発をしていきたいと思いました。

グラフについて

参考記事:https://qiita.com/Haruka-Ogawa/items/59facd24f2a8bdb6d369

・グラフ描画はcanvas要素を使用。

<canvas id="myChart"></canvas>

・Chart.jsを使ってグラフを書くため、CDNに公開されているjsファイルを読み込み

<script>

src="https://cdnjs.cloudflare.com/ajax/libs/Chart.js/2.7.2/Chart.bundle.js"

</script>

・canvas要素を取得し、変数 ctx に入力

let ctx = document.getElementById("myChart"); // キャンバス要素を取得

・描画するグラフを、new Chart()によって設定。

let myLineChart = new Chart(ctx, { type: タイプ, data: データ, options: オプション }

設定項目	設定内容				
type	描画するグラフの種類				
data	ラベルとデータセット				
options	オプション設定				